

御代田 消防署がみなさんへ

風水害に 注意!

7月の豪雨で発生した岡谷市の土石流や、九州地方の豪雨災害は記憶に新しいところですが、幸いにも町内では小さな土砂崩れはありましたが、大きな被害を及ぼすものではありませんでした。

また、近年、局地的な集中豪雨による被害も増えていきます。狭い地域に突発的に降るために予測が困難で、短時間で大量の雨が降り、川の氾濫・土砂崩れなどによる大きな被害が予想されます。気象情報に十分注意をし、万全の対策をとるようにしましょう。

台風・集中豪雨に備えて

- 家の周りを点検しましょう
 ※風雨が強くなつてからの屋外での作業は大変危険です。
- 非常持出し袋などを事前に準備しておきましょう
- 避難所などの場所を
 防災マップなどで確認しておきましょう。
- 危険を感じたら、早めに避難しましょう
- 台風・豪雨が去っても、
 土石流がけ崩れなどに注意しましょう。



【1時間の雨量と降り方の目安】

1時間の雨量		雨の降り方
8~15ミリ		雨の降る音が聞こえる。
15~20ミリ		地面一面水たまり、雨音で話声が良く聞こえない。
20~30ミリ	大雨注意報	どしゃ降り。側溝がたちまちあふれる。
30~50ミリ	大雨警報	バケツをひっくり返したような降り方。
50ミリ以上		滝のように降る。土石流が起こりやすい。

消防団が機能的な活動服を導入

消防団はこれまで出勤時には法被^{はっぴ}を着用していましたが、今年度から災害現場・行方不明者捜索・各種訓練において、機能的で動きやすく団員の負担が軽減するよう、活動服を着用することになりました。

基本は青色で胸の一部とベルトにオレンジ色を配し、また、左胸に白色でやまゆりマーク・背中にオレンジ色で「御代田町消防団」とプリントされています。

なお、式典・会議などでは今までどおり法被を着用します。

